

AI 通訳機「POCKETALK®(ポケットーク)」が 東海道新幹線の売店で採用 6月21日(金)より導入開始

ソースネクスト株式会社(本社:東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター33階 代表取締役社長:松田 憲幸)は、6月21日(金)に、東海道新幹線ののぞみ停車駅の一部売店で、弊社のAI通訳機「POCKETALK(ポケットーク)W」が接客ツールとして導入されることをお知らせいたします。

本製品は世界74言語(2018年12月時点)に対応し、ボタンを押しながら話しかけるだけで、通訳がいるかのように対話ができるAI通訳機です。

株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズ(本社:東京都中央区日本橋 3-1-17 日本橋ヒロセビル 代表取締役社長:河原崎 宏之)は、東京と新大阪を結ぶ東海道新幹線ののぞみ停車駅で、「デリカステーション」をはじめとする弁当売店を展開しています。本製品は、店舗を利用される外国人のお客様へのスムーズな接客サービスの提供を目的とし、東京駅や新大阪駅などの一部店舗に導入され、駅弁の紹介や商品に関する問合せ対応などに利用されます。

弊社では、「言葉の壁をなくす」というミッションの実現を目指し、今後も多くの企業様を通じて、本製品の提供を広げて参ります。



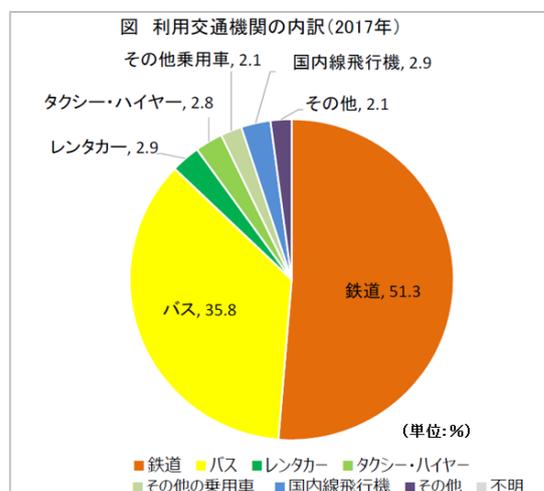
株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズ

JR-CENTRAL PASSENGERS Co.,Ltd.



【訪日外国人が利用する交通機関の第1位は「鉄道」】

今年5月に、国土交通省が発表した「FF-Data(訪日外国人流動データ)」によると、2017年に訪日外国人客が利用した交通機関は、「鉄道」(51.3%)が約半数で最多となりました。交通機関での多言語対応も、ますます重要になってくると考えられます。



出典:国土交通省「FF-Data(訪日外国人流動データ)」(2017年)

【「ポケットーク W」とは】

「ポケットーク W」は、世界74言語に対応した、手のひらサイズのAI通訳機です。話しかけるだけで通訳がいるかのように対話ができます。2.4インチの大きい画面に、タッチパネルを採用。世界128の国と地域(2019年5月14日時点)で使える4G対応のグローバル通信機能を内蔵しているため(グローバル通信(2年)付きの場合)面倒な設定は不要ですぐに使えます。言語数はインド英語やオーストラリア英語などのアクセントにも対応し74言語利用できます。

なお本製品は弊社が開発したもので、ドイツの「IFA 2018」でもイノベーションアワード(Innovation Award at IFA)を受賞しています。日本のみならず世界中に販路を拡大して参ります。

製品プレスリリース

https://sourcnext.co.jp/pressrelease_html/JS/2018/2018072601

詳細URL

<https://pocketalk.jp/>



「POCKETALK(ポケットーク) W」

【株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズ】

- 会社名 : 株式会社ジェイアール東海パッセンジャーズ
- 本社所在地 : 東京都中央区日本橋 3-1-17 日本橋ヒロセビル
- 詳細 : <https://www.jr-cp.co.jp>
- 導入場所 : 東京駅、品川駅、新横浜駅、新富士駅、名古屋駅、京都駅、新大阪駅の一部弁当売店

コピーライト表記について

- 製品の画面掲載などのコピーライト表記は、下記の通りお願いいたします。

© SOURCENEXT CORPORATION

お客様お問い合わせ先

- ソースネクスト・カスタマー・サポートセンター
- ご購入前相談ダイヤル : 0570-035-333 (IP 電話からは 082-553-1081)